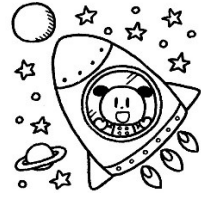


2024年度



りすぐみだより



社会福祉法人 尚徳福社会 生麦保育園



朝夕の空の色や肌に触れる風にどことなく季節の移り変わりを感じる頃となりました。こんがりと日焼けた子どもたちの顔にこの夏の成長を感じています。猛暑は続いています。季節はゆっくりと秋に近づいてきました。この夏の成長を糧に、今月の季節の移ろいを楽しみながら元気いっぱい全身を使って、遊びを楽しんでいきたいと思えます。

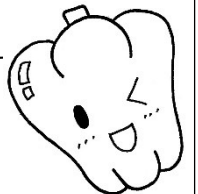
水遊び大好き

7・8月と楽しんできた水遊びはほとんどの子どもが水を怖がらずに、ホースの水をめがけて側に来ると、思いきり水を浴びて喜ぶほど楽しんでいました。すっかり水に慣れてくると、友だちと水を掛け合ったり、水車を回したり、玩具で水をとばしたりとても気持ちよさそうでした。時には、色水遊びや氷遊びもしました。氷遊びでは食紅を使い氷が溶けていくときに色が混ざっていく様子をじっくりと眺めたり触ったりする姿もありました。開放的な遊びを十分に楽しめた子どもたち、秋にどんな姿をみせてくれるか楽しみです。



野菜スタンプ

オクラ、レンコン、ピーマン、青梗菜を子どもたちが触ってみると「においがする」「つるつるしてる」「穴が空いてるね」などの声が聞こえてきました。そこでそれを見せると、「うわー」と早くスタンプ遊びがしたくてたまらない様でした。青梗菜は根本がバラの形に、オクラは星の形になりました。ペタペタ色を楽しんでいるうちに野菜の形がなくなる子どももいましたがスタンプはみんな大好きで「もっとやりたい」と楽しんでいました。その日の給食では思わずオクラを食べた子もいました。野菜にも興味をもってくれるといいですね。



言葉のやり取り

欲しい玩具が一緒だと、引っ張って取ろうとしたり、泣いて保育者に訴えていたりしていたのですが「かして」「まだ使っている」「あとで」などのやり取りが多く見られるようになってきました。他の玩具をもってきて(交換して)と交渉をしようとしていたり、泣いている友だちがいると似た玩具を持ってきてあげる子どもがいたり自分の気持ちだけでなく友だちのことを気にして一緒に遊べるようになってきました。まだまだ、やりたいことが重なったり、順番を待つのが難しかったりしますが日々成長を見せてくれる子どもたちにほっこりさせてもらっています。玩具を貸してもらった時「ありがとう」と言葉を添えることを保育士と一緒にしています。言葉でのやり取りがこれからもっと増えていきそうです。お友だちを通して気持ちを思い合える素敵な仲間たちです。

